

「医療安全」「感染制御」

「個人情報保護」に関する当院の方針

当院での実習・研修を申し込むにあたり、「医療安全」「感染制御」「個人情報保護」に関する当院の方針を理解したうえで申請願います。各養成機関におかれましては、下記によりオリエンテーションを実施の上、派遣いただきますようお願いいたします。

1.医療安全

当院において実習・研修を行う場合、患者さん・ご家族から見て実習生・研修生は当院医療（従事）者に当たることを念頭に行動願います。

実習・研修中に患者さん・ご家族から得た情報については速やかに指導教員等に「報告」、「連絡」、「相談」することを心がけて下さい。

当院 HP 「医療安全管理部」

https://www.huhp.hokudai.ac.jp/center_section/iryooanzenkanri/

より抜粋

北海道大学病院 医療安全管理に関する基本的な考え方

「隠さない・逃げない・ごまかさない」

全ての職員は、患者の安全を最優先し、安全に医療を提供する責務があることを認識し業務に当たる。

患者に対するインフォームド・コンセント及びその承諾に基づく医療従事者との良好な信頼関係の下に、患者本位の全人的な医療および安全な医療を提供する。

インシデントが発生した際は、インシデントにより起こりうる患者・家族等の不利益をできるだけ軽減するために、組織横断的に安全で安心な医療を提供する。

インシデントが発生した際は、指示のもと患者及び家族に誠実に説明を行う。

インシデントが発生した際は、速やかに事故内容等の検討及び再発の防止策を講じる。

患者さん・ご家族へのお願い

医療の安全を守るため、下記のことについて患者さん・ご家族のご理解とご協力をお願いいたします。医療者と協力し、自らの医療に積極的に参加してください。

- ・健康状態及び変化は、速やかに正確に医療者にお伝えください。
- ・薬や食べ物でアレルギーがある場合はお知らせください。
- ・他院でお薬が出ている場合はお知らせください。

・検査や治療などの医療行為は、十分な理解と合意の上で受けてください。

納得できないことや理解しづらいことは遠慮せずに医療者にご質問ください。

2.感染制御

当院では、院内感染対策指針を策定し、「院内感染対策に関する基本的な考え方」として、

『院内感染を未然に防止するとともに、ひとたび感染症が発生した際には、拡大防止のために、その原因を速やかに特定して、これを制圧、終息させる。』こととしています。

この基本的な考え方を理解の上、以下の事項を遵守してください。

・[「北海道大学病院における受託実習生・研修生の受入れに係るワクチン接種等の基本方針」](#)

により定められているワクチン接種、胸部X線検査を実施の上、実習・研修を行ってください。

・実習・研修当日、体調がすぐれない場合は指導教員等に必ず申し出て指示を受けてください。特に感染性疾患の罹患が疑われる場合は、医療機関を受診してください。

(例)

・感染性胃腸炎の症状（嘔吐・下痢・発熱）がある。

・インフルエンザの症状（37.5度以上の発熱・全身倦怠感などの感冒症状）がある。

3.個人情報保護

「個人情報の保護に関する法律」及びこれに関連する通達・規程や院内の諸規定等を遵守するとともに、患者さん等の個人情報について、他に流用・漏洩しないことが求められます。

個人情報とは

個人が識別できる情報のこと

※当院においては、診療に関して取得された患者の情報（氏名、性別、年齢、住所、電話番号、ID番号などの個人を識別する情報のほか、診療内容、症状、既往歴、職種、家族に関する事項など、当該患者と関連づけることができる情報が広く含まれます。）

個人情報の匿名化とは

個人情報から、氏名、生年月日、住所等、個人を識別する情報を取り除くことで、特定の個人を匿名化することをいう。（○田○男やイニシャルというものではなく、情報を完全に削除する）

以上の事項をふまえ、「個人情報の保護に関する誓約書」の誓約内容を理解の上、署名・提出願います。